

2020年5月21日

FY2019(2020年3月期) 決算説明会資料

株式会社島津製作所
代表取締役社長 上田輝久

内容

- ① F Y 2019 決算
- ② F Y 2019 セグメント別業績
- ③ F Y 2020 通期予想

サマリー



新型コロナウイルス 感染拡大

第3四半期までは増収増益で過去最高を更新したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、減収減益（売上▲62億円、営業利益▲42億円）

日本、米州、欧州、その他アジアで 過去最高売上を更新

コロナウイルス感染拡大による影響を受けた中国を除き、主要地域で過去最高の売上を更新

医用売上過去最高を更新

血管撮影システムやコロナウイルス感染拡大による回診用X線撮影装置が好調に推移し、過去最高売上を達成

TMP回復

上期は低迷した半導体設備投資が回復したことより、下期の売上は対前年28%増（為替影響除く）

損益計算書

- 売上高 3,854億円 (前年差▲58億円、前年比▲1%) 新型コロナウイルス感染拡大の影響：▲62億円
- 営業利益 418億円 (前年差▲26億円、前年比▲6%) : ▲42億円

	単位：億円	通期		前年比	
		FY2019	FY2018	差額	増減率
業績	売上高	3,854	3,912	▲58	▲1%
	営業利益	418	445	▲26	▲6%
	営業利益率	10.9%	11.4%	▲0.5pt	-
	経常利益	427	455	▲28	▲6%
	親会社株主に帰属する当期純利益	318	325	▲8	▲2%
為替	平均レート：米ドル (円)	108.8	111.0	▲2.2	▲2%
	ユーロ (円)	120.9	128.4	▲7.5	▲6%
主要投資	研究開発費	169	166	+3	
	設備投資額	177	217	▲40	
	減価償却費	133	115	+18	

為替影響

売上高 : ▲54億円
営業利益 : ▲16億円

為替感応度

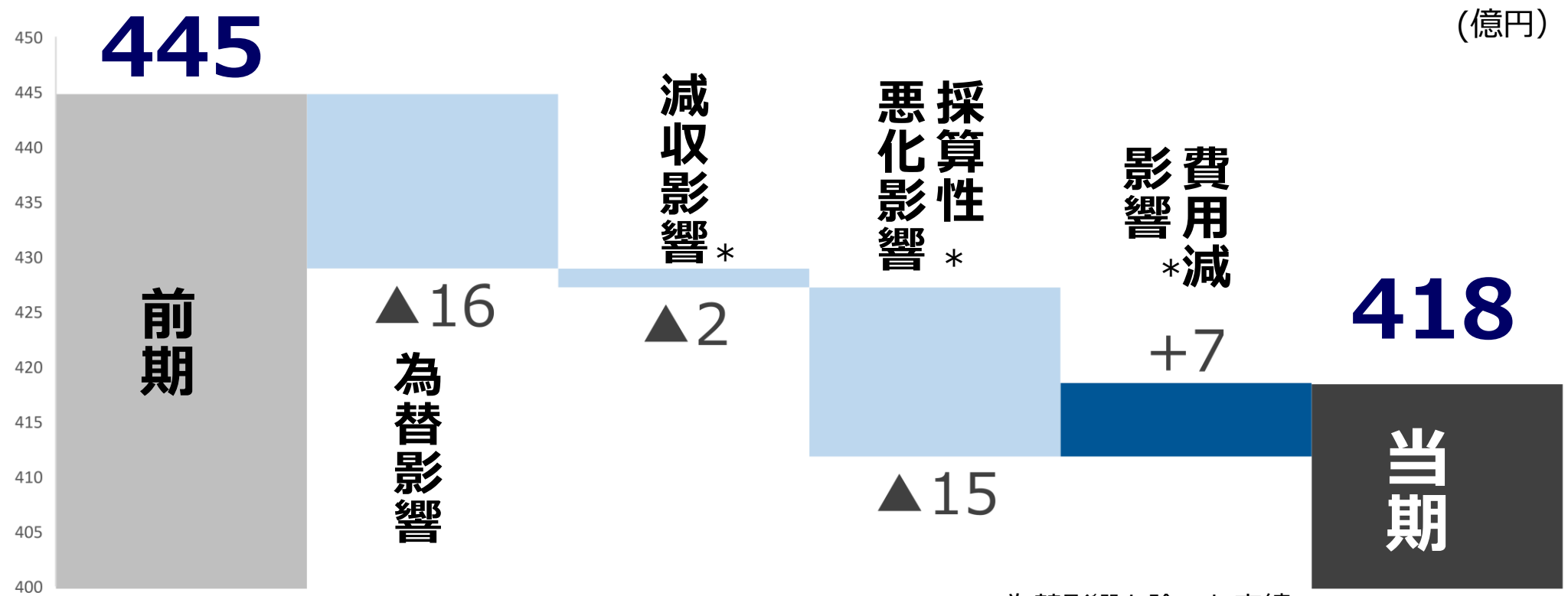
売上高 営業利益

USD	12億円	4億円
EUR	2億円	0.7億円

* 減価償却増：会計基準変更の影響約6億円
(リース基準変更 賃借料→減価償却費)

営業利益減益要因

- ・ 為替影響 ▲16億円 : 前期と比べUSドルが2%、ユーロが6%円高
- ・ 採算性悪化 ▲15億円 : セグメントミックスの変化等による
- ・ 費用減 +7億円 : 管理可能経費の削減



* 為替影響を除いた実績

セグメント別損益

- ・計測：減収減益 ■ 第3四半期までは増収増益で過去最高を更新したが、Q4は新型コロナウイルス感染拡大が影響
- ・医用：増収増益 ■ 血管撮影システムや肺炎検査用途で回診用X線撮影装置が好調、経費削減も奏功
- ・産業：減収減益 ■ TMPは下期に回復したものの、上期の減少を補えず、油圧機器も低迷
- ・航空：増収増益 ■ 防衛は輸送機向け、民航は中小型機向けの搭載機器が伸長

単位: 億円	売上					営業利益					営業利益率			
	FY2019	FY2018	前同比 差額	前同比 増減率	除為替	FY2019	FY2018	前同比 差額	前同比 増減率	除為替	FY2019	FY2018	前同比 増減	前同比 除為替
計測	2,362	2,414	▲52	▲2%	▲1%	358	388	▲30	▲8%	▲5%	15.1%	16.1%	▲0.9pt	▲0.8pt
医用	702	691	+11	+2%	+3%	32	23	+9	+37%	+47%	4.5%	3.4%	+1.2pt	+1.4pt
産業	430	454	▲24	▲5%	▲4%	37	45	▲8	▲18%	▲11%	8.5%	9.8%	▲1.3pt	▲0.7pt
航空	300	273	+27	+10%	+11%	8	1	+7	+565%	+555%	2.6%	0.4%	+2.2pt	+2.2pt
その他	60	80	▲20	▲25%	▲10%	12	14	▲2	▲13%	▲13%	15.4%	14.1%	+1.3pt	+1.3pt
調整額						▲28	▲26	▲2	-					
合計	3,854	3,912	▲58	▲1%	▲0%	418	445	▲26	▲6%	▲2%	10.9%	11.4%	▲0.5pt	▲0.3pt

* 新型コロナウイルス感染拡大影響

- ・計測：中国で売上▲42億円、中国以外の地域で売上▲21億円減少し、合計▲63億円減少
- ・医用：回診用X線撮影装置の特需などで売上が+11億円増加
- ・産機：TMPの据付に影響が出たなど売上が▲9億円減少

・航空：影響は軽微

* 売上は外部売上
営業利益率は外部+内部売上/営業利益で算出

- ① F Y 2019 決算
- ② **F Y 2019** **セグメント別業績**
- ③ F Y 2020 通期予想

計測機器/機種別売上高

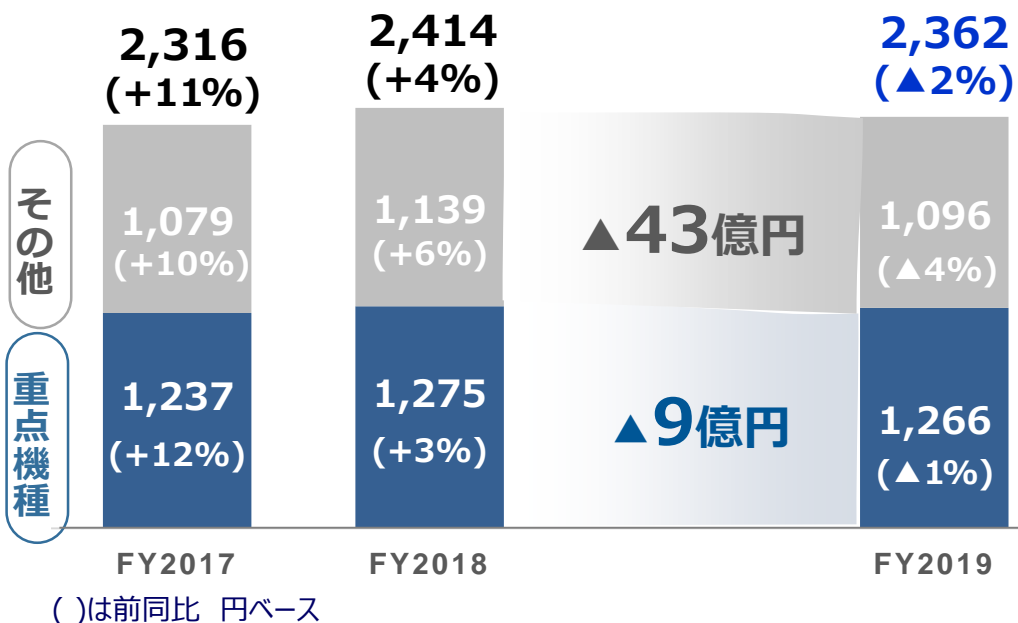
- 重点機種 1,266億円 : ▲9億円 (▲1%)** * 除く為替 +1%

中国が▲9% (除く為替▲7%) となったが、LCは日本・インド、MSは日本、GCは日本・北米が好調に推移
- その他 1,096億円 : ▲43億円 (▲4%)** * 除く為替▲2%

製造業の設備投資減少や前年中国の環境モニタリング特需の反動影響を試験機がカバーし4%減にとどめる
- AM 売上763億円 : +30億円(+4%) AM比率32% : +2ポイント** *AM=アフターマーケット

*重点機種：液体クロマトグラフ (LC)
質量分析計 (MS)
ガスクロマトグラフ (GC)

計測機器 売上高 推移 (億円)



計測機器製品



計測機器/地域別売上高

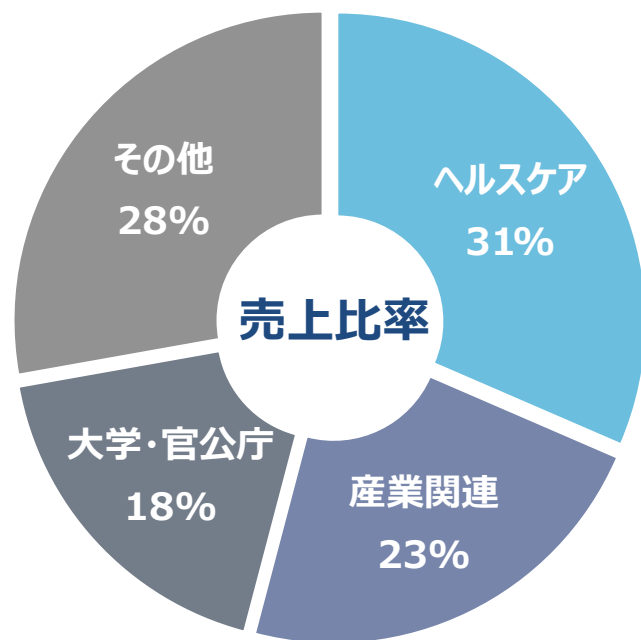
- ・ **日本：+1%** LCを中心に重点機種は好調で6%増、その他機種は電機・輸送機等の設備投資抑制影響を受け減収となる。売上高は過去最高の1,000億円を突破
- ・ **海外：▲2%** 中国が米中貿易摩擦、新型コロナウイルス感染拡大影響を受け大幅減
北米、欧州、その他アジアは過去最高売上（現地通貨ベース）を達成
- ・ **海外売上高比率：59%** 前年同期▲1pt

	FY2019	FY2018	増減額	増減率	為替影響 除く	概況
日本	1,008	997	+11	+1%	+1%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品安全・製薬・官公庁向けに重点機種が好調 ・ その他機種が設備投資抑制などの影響を受け減少
中国	479	555	▲76	▲14%	▲12%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製薬向けは増加 ・ 米中貿易摩擦影響を受け、設備投資が停滞 ・ 環境計測機器が前年の特需の反動で大きく減少 ・ 新型コロナウイルス感染拡大影響により事業活動が制限
北米	262	256	+6	+3%	+5%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機能性食品向けにLC、ICP-MSが好調
欧州	247	250	▲3	▲1%	+5%	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロシアで食品安全向けにMSが好調に推移 ・ 西欧は臨床向けLCMS好調
その他 アジア	268	257	+12	+4%	+6%	<ul style="list-style-type: none"> ・ インドで製薬・受託分析向けにLC、MSが回復

計測機器/市場別売上高比率

- ・ **大学・官公庁** : アメリカは大学向け施策が奏功、官公庁も好調に推移したが、中国が大幅に減少
- ・ **産業関連** : 米中貿易摩擦影響などにより電機向けが大幅に減少
- ・ **ヘルスケア** : 製薬、臨床は堅調に推移したが、中国が大幅に減少

市場別売上構成比

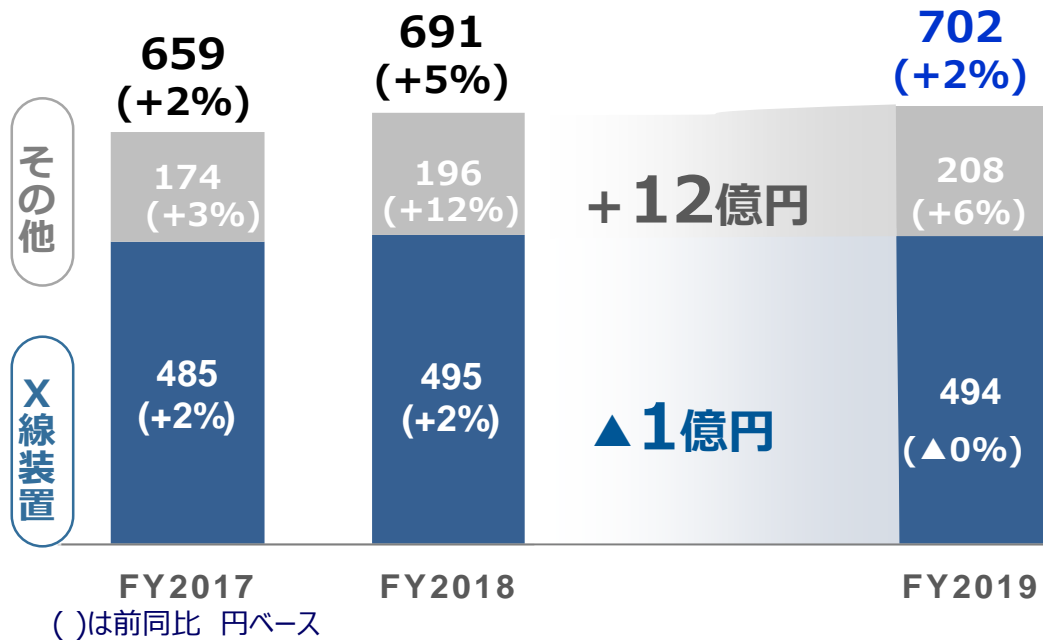


市場と主な業界	前同比	概況
大学・官公庁	横ばい	<ul style="list-style-type: none"> ・ アメリカでの大学向け施策（SPARQ）が奏功し、大学が大幅に増加 ・ 中国が大幅に減少
産業関連 <ul style="list-style-type: none"> ・ 化学・素材 ・ 電機 ・ 自動車 	▲2%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電機向けが大幅に減少 ・ その他アジアで輸送機向け減少
ヘルスケア <ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬・食品 ・ 医療機関 ・ 受託分析業 	▲3%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製薬・臨床は堅調に推移 ・ 北米で機能性食品向けが増加 ・ 中国が製薬を除き大幅に減少

医用機器/機種別売上高

- ・X線装置 494億円：▲1億円（▲0%） * 除く為替+1%
血管撮影システム、回診用X線撮影装置はグローバルで拡大。一般撮影、X線TVは海外で減少
- ・その他 208億円：+12億円（+6%） * 除く為替+7% クリニック市場の開拓
- ・AM 214億円：+9億円(+4%) AM比率30%：横ばい

医用機器 売上高 推移（億円）

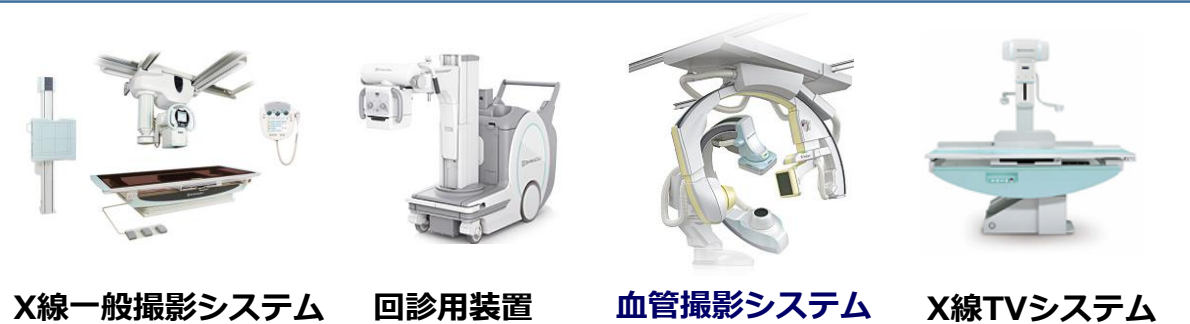


医用機器製品

その他



X線装置



医用機器/地域別売上高

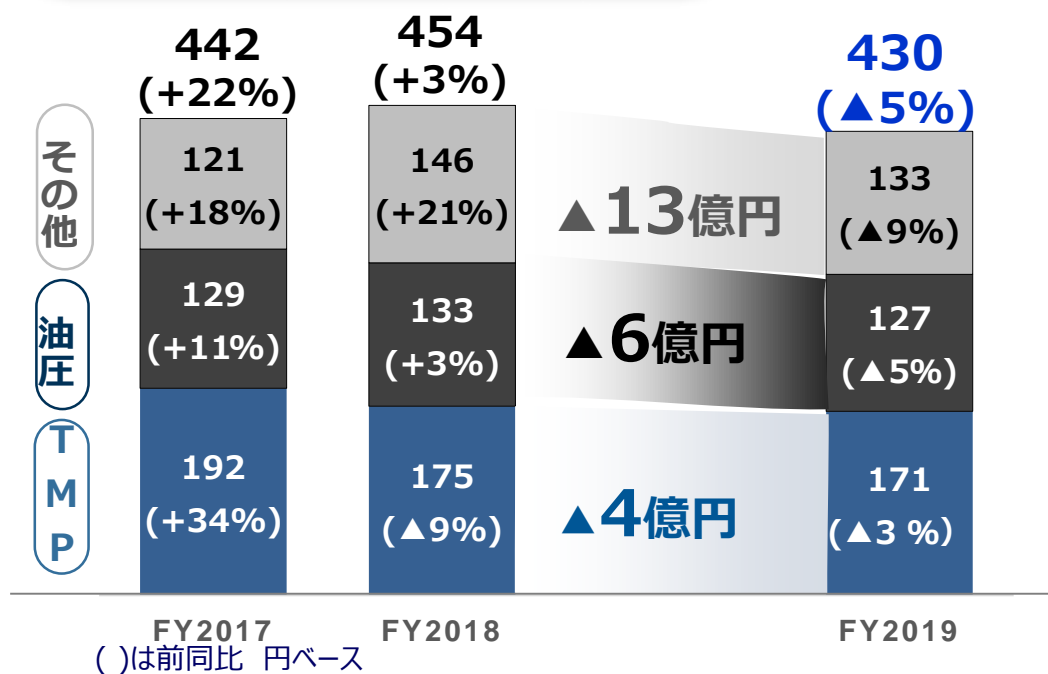
- ・ 日本：+7% 血管撮影システムや回診用X線撮影装置が牽引
- ・ 海外：▲4% 欧米、中国が低迷
- ・ 海外売上高比率39%：前年同期▲3ポイント

	FY2019	FY2018	増減額	増減率	為替影響除く	概況
日本	431	402	+29	+7%	+7%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 心血管治療向け血管撮影システムが好調でシェア拡大 ・ 回診用X線撮影装置が新型コロナウイルス感染拡大により需要増
北米	73	81	▲9	▲11%	▲9%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血管撮影システムは拡大したものの、デジタル化促進施策の需要一巡の影響が続きX線撮影システムが減少
中国	52	58	▲6	▲10%	▲9%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国産優遇による中国国産メーカーとの競争激化 ・ 回診用X線撮影装置が新型コロナウイルス感染拡大により需要増
欧州	37	43	▲6	▲14%	▲9%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東欧市場の停滞や競争激化の影響によりX線TVシステムや血管撮影システムが減少
その他 アジア	52	53	▲1	▲2%	▲0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ インドで血管撮影システム拡大 ・ 前年のバングラディッシュ・マレーシア保健省向け大口案件の反動

産業機器

- ・ **TMP** 171億円：▲4億円（▲3%） 上期は低迷したが、下期は半導体設備投資増により回復
- ・ **油圧** 127億円：▲6億円（▲5%） 北米・中国でフォークリフト・小型建機の需要減少
- ・ **その他** 133億円：▲13億円（▲9%） 中国の電子機器向け設備投資抑制などでガラスワインダが減少
- ・ **TMP AM** 36億円：+3億円(+8%) AM比率21%：+2ポイント

産業機器 売上高 推移（億円）



産業機器製品

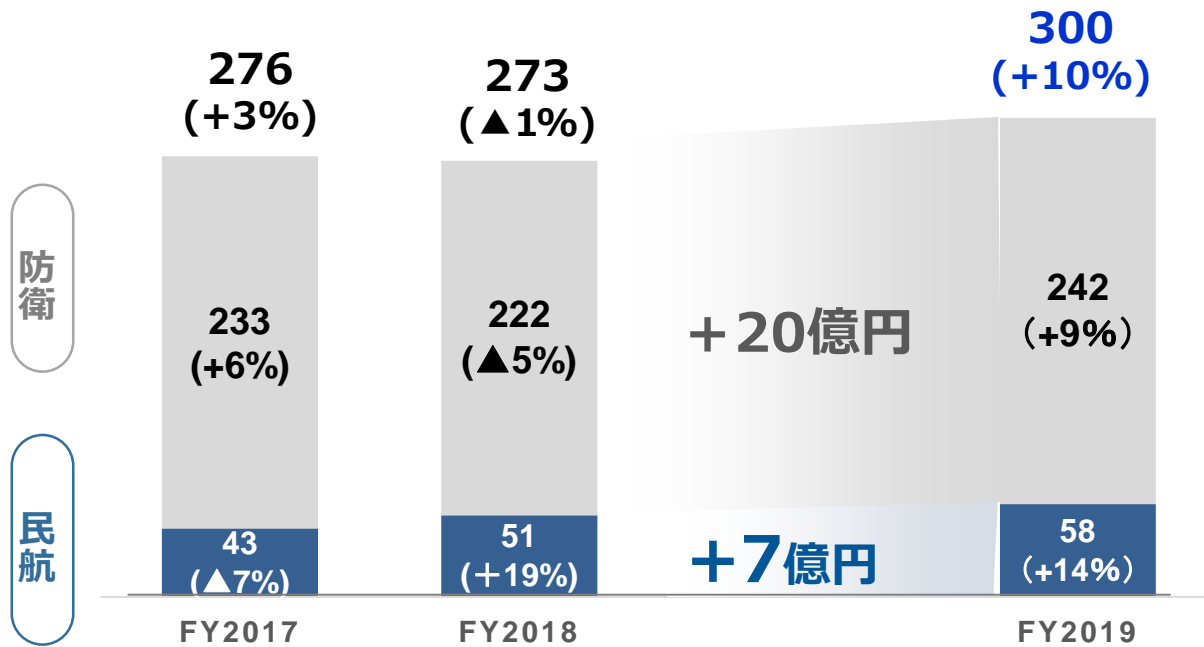
その他			
	工業炉	高速スパッタリング装置	バランス
TMP			
	ターボ分子ポンプ	油圧ギアポンプ	コントロールバルブ

航空機器

- ・ 民航 58億円 : +7億円 (+14%)
- ・ 防衛 242億円 : +20億円 (+9%)

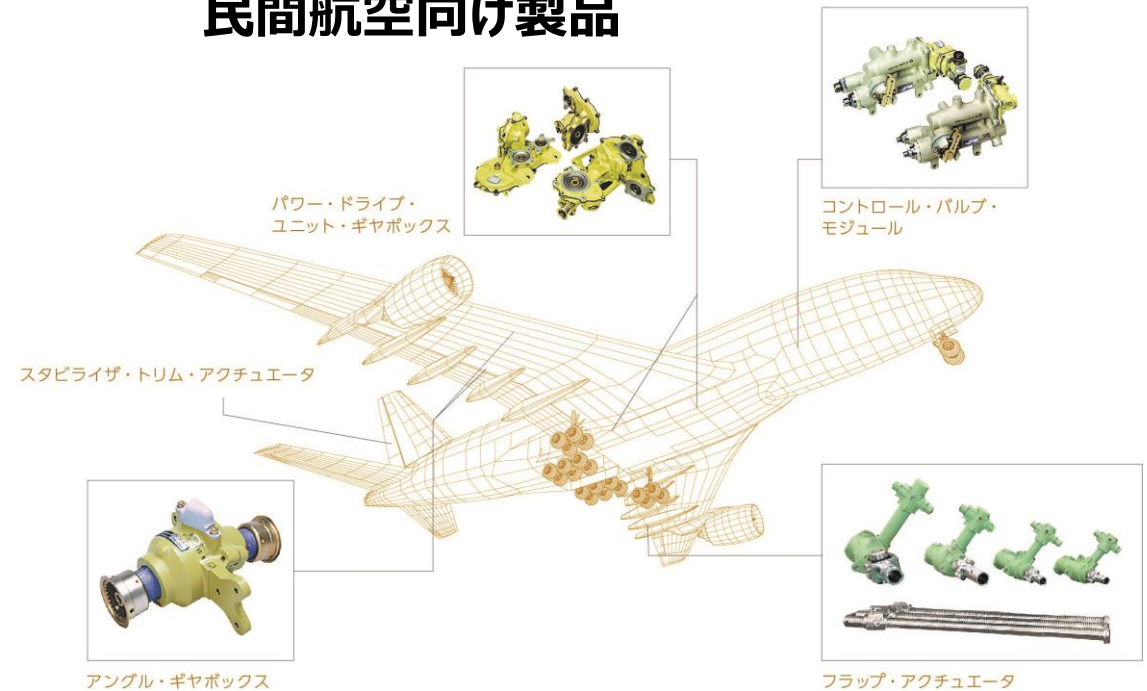
中・小型機向け搭載機器およびアフタサービス増加
 新型輸送機向けなどが増加

航空機器 売上高 推移 (億円)



()は前同比 円ベース

民間航空向け製品



- ① F Y 2019 決算
- ② F Y 2019 セグメント別業績
- ③ F Y 2020 通期予想**

新型コロナウイルス感染拡大影響

- ・事業環境：新型コロナウイルス感染拡大影響は年度末まで継続すると見込む
- ・生産活動：中国はほぼ通常稼働だが、中国以外の工場は、出社人数を調整して稼働

事業環境

事業		概況
計測	大学・官庁	○ ■ 政府の補正予算増により感染症対策に関連する研究基盤強化による需要拡大
	ヘルスケア	○ ■ 製薬、ウイルス研究向けビジネス拡大 ■ 公衆衛生関連ビジネス拡大
	産業関連	× ■ 自動車、鉄鋼、機械、化学など幅広い分野で設備投資減少などにより厳しい状況
医用	回診用X線撮影装置	○ ■ 新型コロナウイルス感染により需要拡大
	その他X線装置	× ■ 新型コロナウイルス対策以外の医用機器新規導入停滞
産業	TMP	○ ■ 通信機器、モバイル機器の高度化に伴い、半導体需要が拡大
	油圧	× ■ フォークリフト・小型建機需要減
航空	民間航空	× ■ 航空機利用減により需要は減少

バリューチェーン

	概況
開発	・テレワークを活用し業務を継続 ・中国はほぼ通常稼働
生産	・中国以外は人数を調整して稼働 * 全ての工場は稼働中
販売サービス	・中国はほぼ通常稼働 ・中国以外の拠点で在宅勤務実施中 ・顧客も在宅勤務が多く、WEBやメールなどで活動を実施中

FY2020 主な施策

- ・売上拡大：製薬・臨床市場を含めた社会における感染症対策や、リカーリング強化による事業拡大
地域別ではいち早く回復する中国に注力
- ・体質改善：事業環境の変化に応じ管理可能な経費や製造コストの削減、設備投資計画の見直し、
人員計画の適正化、研究開発テーマの優先順位の見直しを進める

売上拡大	施策
計測	・感染症の検査・診断に対する研究開発、製品・サービス開発の強化(感染症対策プロジェクトの推進)
	・新型コロナウイルス感染症対策として研究開発予算増額や経済活性化対策による需要増を取り込む
	・経済活動がいち早く回復すると見込む中国で、製薬・受託分析、環境分野などに重点機種を拡販
	・リカーリング事業の強化
医用	・回診用 X 線撮影装置の拡販
	・リモートによるサービス・サポート強化
産業	・T M P の半導体製造装置への新規採用増加
航空	・新事業（試験検査ビジネス、水中光無線通信）売上増

体質改善	主な取り組み
投資	・設備投資の見直し、人員計画の適正化
研究開発	・研究開発テーマの優先順位付け
その他	・製造コストダウンや管理可能経費の削減

FY2020 通期予想

- ・新型コロナウイルス感染拡大の経済影響は濃淡はあるものの年度末まで継続し、業績への影響はリーマンショックより大きいと想定
- ・一層の効率的な組織運営を進めつつ、変化する事業環境において各地域の政策や需要が増加する産業の動きを的確にとらえ、業績回復につなげる

		通期		前期比	
単位：億円		FY2020	FY2019	差額	増減率
業績	売上高	3,400	3,854	▲454	▲12%
	営業利益	220	418	▲198	▲47%
	営業利益率	6.5%	10.9%	▲4.4pt	-
	経常利益	220	427	▲207	▲48%
	親会社株主に帰属する当期純利益	160	318	▲158	▲50%
為替	平均レート：米ドル（円）	105.0	108.8	▲3.8	▲3.5%
	ユーロ（円）	115.0	120.9	▲5.9	▲4.8%
主要投資	研究開発費	160	169	▲9	
	設備投資額	120	177	▲57	
	(減価償却費)	150	133	+17	

為替影響

売上高 : ▲57億円
 営業利益 : ▲19億円

為替感応度

	売上高	営業利益
USD	12億円	4億円
EUR	2億円	0.7億円

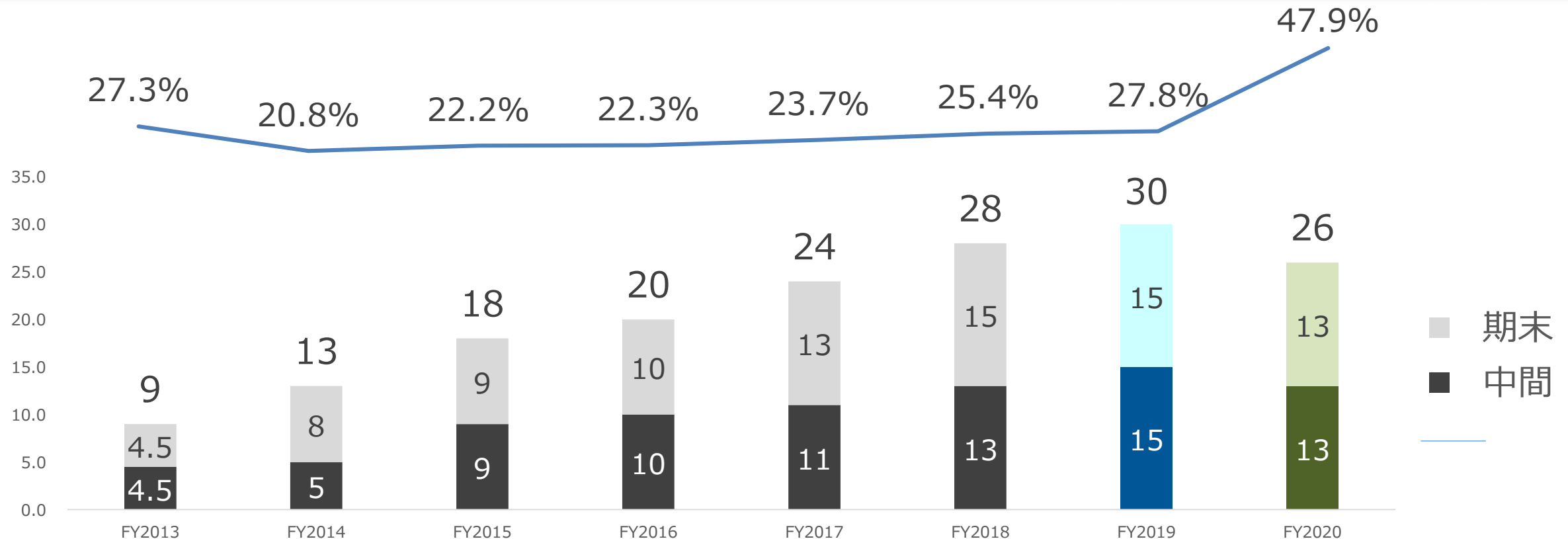
* 減価償却増：会計基準変更の影響約16億
 （リース基準変更 賃借料→減価償却費）

配当

方針：研究開発など成長に向けた積極的投資とステークホルダーへの着実な還元を実施

配当：FY2020 中間13円、期末13円 年26円（前年30円）

当期純利益が50%減の予想であるが、配当は上記方針に鑑み13%減の26円とする



* FY2019は定時株主総会決議後に確定



不安な胸に、やさしくありたい。

島津製作所が開発した、乳がん検査技術。
 検出器ホールに乳房を入れるだけで、
 小さな乳がんの兆しまで見分ける
 世界最先端技術です。

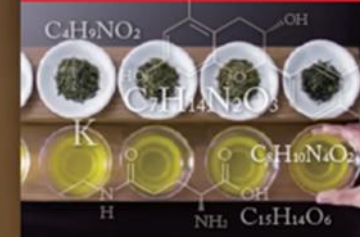


世界に答えを。

 **SHIMADZU**
 Excellence in Science



Shimadzu Corporation,
 making tea work
 for humanity.



High Performance Liquid Chromatographic
 Mass Spectrometers

本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど
 様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。

お問い合わせ先：(株)島津製作所
 コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ
 電話：075-823-1673 E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp

補足資料

損益計算書（第4四半期）

- ・ 売上高 1,063億円（前年差▲67億円、前年比▲6%）
- ・ 営業利益 139億円（前年差▲30億円、前年比▲18%）

	単位：億円	4Q		前同比	
		FY2019	FY2018	差額	増減率
業績	売上高	1,063	1,130	▲67	▲6%
	営業利益	139	169	▲30	▲18%
	営業利益率	13.1%	15.0%	▲1.9pt	-
	経常利益	139	170	▲31	▲18%
	親会社株主に帰属する当期純利益	104	130	▲27	▲20%
為替	平均レート：米ドル（円）	109.0	110.2	▲1.3	▲1.1%
	ユーロ（円）	120.1	125.2	▲5.0	▲4.0%
主要投資	研究開発費	48	48	+0	
	設備投資額	58	78	▲20	
	減価償却費	34	29	+5	

為替影響

売上高 : ▲8億円
営業利益 : ▲4億円

為替感応度

	売上高	営業利益
USD	12億円	4億円
EUR	2億円	0.7億円

セグメント別損益（第4四半期）

単位：億円	売上					営業利益					営業利益率			
	FY2019	FY2018	前同比		除為替	FY2019	FY2018	前同比		除為替	FY2019	FY2018	前同比	
			差額	増減率				差額	増減率				増減	除為替
計測	637	721	▲84	▲12%	▲11%	106	142	▲36	▲25%	▲24%	16.7%	19.8%	▲3.0pt	▲2.9pt
医用	199	200	▲1	▲1%	+0%	19	14	+5	+36%	+41%	9.6%	7.0%	+2.6pt	+2.1pt
産業	128	113	+15	+13%	+14%	15	12	+4	+33%	+39%	12.0%	10.2%	+1.8pt	+2.2pt
航空	88	80	+8	+10%	+10%	4	4	▲0	▲4%	+0%	4.2%	4.8%	▲0.5pt	▲0.4pt
その他	12	16	▲4	▲27%	▲27%	4	6	▲3	▲43%	▲43%	23.1%	31.5%	▲8.4pt	▲8.4pt
調整額						▲9	▲9	▲0	-	-				
合計	1,063	1,130	▲67	▲6%	▲5%	139	169	▲30	▲18%	▲16%	13.1%	15.0%	▲1.9pt	▲1.6pt

計測機器/重点機種前同比

	FY2017				FY2018				FY2019			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
全体	+7%	+8%	+9%	+10%	+12%	+3%	+3%	+2%	▲4%	+10%	+4%	▲11%
重点機種	+5%	+12%	+5%	+13%	+4%	+0%	+8%	+2%	+5%	+7%	+5%	▲10%

*重点機種：液体クロマトグラフ（LC）、質量分析計（MS）、ガスクロマトグラフ（GC）

*為替影響を除いています

計測機器/地域別売上高前同比

国	FY2017				FY2018				FY2019			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
日本	+11%	+1%	+15%	+8%	+15%	▲1%	▲4%	▲1%	▲12%	+21%	+0%	▲5%
北米	▲9%	+7%	+11%	+30%	+17%	+14%	+9%	+3%	+4%	▲5%	+16%	+4%
欧州	+9%	+8%	▲7%	▲7%	+11%	+7%	+19%	+8%	+1%	+19%	+2%	▲2%
中国	+14%	+20%	+13%	+14%	+10%	+6%	+3%	+9%	▲8%	▲4%	+4%	▲40%
その他アジア	▲7%	+9%	▲8%	+13%	▲2%	▲1%	+13%	▲2%	+19%	+11%	+8%	▲10%
インド	▲10%	+24%	▲7%	+21%	+6%	▲7%	+4%	▲9%	+11%	▲3%	+27%	▲5%

* インドはその他アジアの内数です

* 為替影響を除いています

医用機器/地域別売上高前同比

国	FY2017				FY2018				FY2019			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
日本	+9%	+0%	+1%	▲11%	▲1%	+16%	+19%	+6%	+6%	+30%	▲2%	▲5%
北米	+2%	▲9%	+10%	+19%	+17%	▲3%	▲33%	▲24%	▲24%	▲17%	+5%	+7%
欧州	▲51%	▲3%	+75%	+96%	+190%	+31%	+22%	▲1%	▲26%	▲6%	+2%	▲8%
中国	▲1%	+3%	+22%	▲7%	+1%	▲14%	▲5%	▲15%	▲33%	+5%	▲26%	+13%
その他アジア	+22%	+34%	▲8%	+24%	+11%	▲2%	+45%	▲28%	▲8%	+3%	▲16%	+34%

* 為替影響を除いています

産業機器/機種別売上高前同比

	FY2017				FY2018				FY2019			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
TMP	+59%	+34%	+30%	+16%	+14%	+0%	▲15%	▲29%	▲25%	▲26%	+10%	+48%
油圧	+11%	+9%	+15%	+7%	+6%	+1%	+4%	+1%	+2%	+1%	▲12%	▲5%
その他	▲7%	+13%	+20%	+37%	+92%	▲9%	▲1%	+36%	▲37%	+19%	▲11%	▲1%

* 為替影響を除いています

アフターマーケット(AM)比率

計測

	FY2017				FY2018				FY2019			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
AM売上前同比	+10%	+14%	+8%	+6%	+18%	+14%	+15%	+11%	+3%	+6%	+6%	▲2%
AM比率	30%	27%	28%	27%	31%	31%	31%	29%	34%	30%	32%	32%

医用

	FY2017				FY2018				FY2019			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
AM売上前同比	+2%	+6%	+1%	+2%	+4%	▲2%	+5%	+2%	+5%	+13%	▲3%	+2%
AM比率	33%	31%	31%	28%	32%	29%	30%	29%	35%	28%	31%	30%

TMP

	FY2017				FY2018				FY2019			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
AM売上前同比	▲0%	+37%	+52%	+39%	+49%	+31%	+26%	+19%	+13%	+9%	▲1%	+12%
AM比率	11%	14%	13%	14%	14%	18%	20%	24%	22%	27%	18%	18%